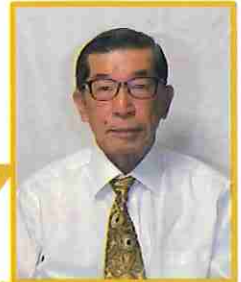


ほっと辻堂

～地域のお困りごとの相談窓口～

辻堂エリアの災害について一緒に考えてみましょう！

今回お話を聞きしたのは、一般社団法人 アジア防災センター 理事長 小川 雄二郎さんです。日頃から、辻堂地区防災協議会でもご尽力されています。



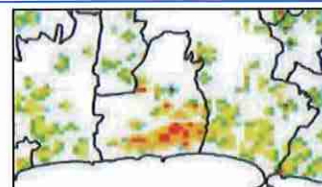
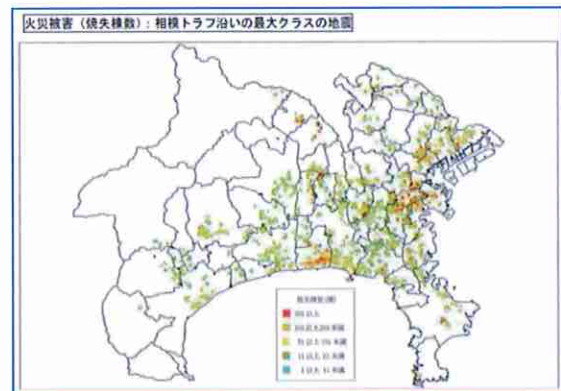
辻堂地区でも地震、津波、洪水、がけ崩れ、液状化、火災、噴火等様々な自然災害が起こる可能性があります！中でも以下の自然災害には特に注意が必要と感じます。

<<辻堂エリアで特に注意が必要とされる災害>>

- ①津波・・・相模湾に面しているため
- ②地震から派生する火災・・・消火栓が断水し、道路も閉塞され、消防自動車が出来ず、広範囲に燃え広がる恐れがある木造住宅の密集する地域の多いことから、延焼火災の危険が高いことが予想される。
- ③富士山の噴火・・・偏西風に乗って火山灰が降り、呼吸器系の疾患、農作物の被害、交通障害などで生活の困難が起きる恐れが高い。



藤沢市津波ハザードマップを確認してみましょう。(左) 相模トラフ沿いの最大クラスの地震が発生した時の火災被害想定図(右)

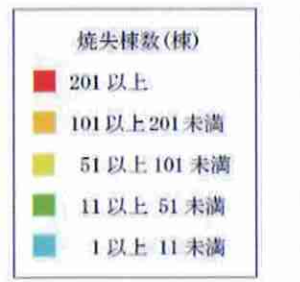


辻堂エリア拡大

もしもの時、あなたはどんな心理状態になりそうですか？

- Aタイプ 「大したことじゃない」と思う
- Bタイプ 「みんなが逃げていないから大丈夫」と思う
- Cタイプ 「自分だけは被災しないから大丈夫」と思う
- Dタイプ 「前は大丈夫だったから」と思う

あなたのなりやすい心理状態についての解説は裏面へ



～もしもの時にあなたが感じやすい心理状態について～

Aタイプ：目の前に危険が迫っていてもその危険を認めない傾向にあります。

平常時は、心配事が少ないと感じることも。

Bタイプ：集団の中にいると同じ行動をとってしまう傾向にあります。

日常生活であれば協調性がある方が多いかもしれません。

Cタイプ：自分の将来を楽観的にとらえ、被災する可能性を過小評価する傾向にあります。

ABのタイプと同様で、正常性の偏見ともいいます。

Dタイプ：警報が何回も鳴っているが、今回も空振りだろう。堤防があるから大丈夫だろうと自分の信用する情報を探し、逃げなくてよい理由を探します。



A～Dタイプに共通することは、緊急時に平常心を保とうとして避難する事を選択しない状況です。危険を察知したら、すぐに避難できるような心がけがとても大切です。

参照HP：日本赤十字社「災害時に逃げ遅れてしまう ころの働き」
東北大学災害科学国際研究所「災害時の人間の心理と行動」



詐欺被害情報

(令和5年1月～令和5年6月)

ご注意ください!!

神奈川県内 被害額 : 約 18億3,000万円

藤沢署管内(南部) : 約 5,200万円

警察相談専用窓口 ☎ #9110

消費者ホットライン ☎ 188

藤沢警察署 ☎ 0466-24-0110

怪しい!と思ったら
まず相談を!

公園体操開催中! 楽しく運動習慣を身につけませんか?

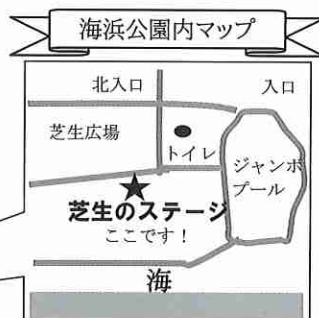
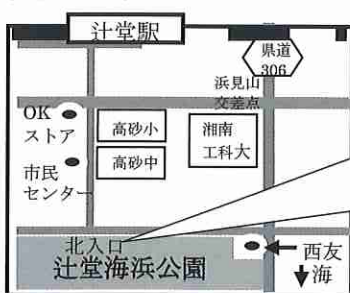
海浜公園 かいひんFRIENDSイベント

日時:毎週水曜日 午前9:30~10:00

※雨天中止、祝日開催

場所:辻堂海浜公園

芝生のステージ



諏訪神社

日時:毎週金曜日 午前9:30~10:00

※雨天中止、祝日開催

場所:諏訪神社 境内
(住所:辻堂元町3-15-15)



諏訪神社は
ココです!



※7/19~9/20は暑い時期のためお休みです。

発行元 辻堂西いきいきサポート(地域包括支援)センター
住所:辻堂西海岸2-1-17 辻堂市民センター内
電話:0466-54-9511



辻堂東いきいきサポート(地域包括支援)センター
住所:辻堂元町5-5-8
電話:0466-36-3333

